

資料 A

経営（学会連合）フォーラムの個別学会フォーラムにおいて （社）日本経営工学会関西支部が独自企画を展開することについての提案

関西支部長 溝口泰弘（経営（学会連合）フォーラム委員）
 関西支部運営委員 能勢豊一（経営（学会連合）フォーラム委員）

1. 第 4 5 回ビジネスシヨウ KANSAI 2006 開催の趣旨と組織

1.1 開催の趣旨

ビジネスシヨウ KANSAI は、今回で 4 5 回を数え、関西における最先端のオフィス改革の推進の役割を果たしてまいりました。今回よりビジネスシヨウ OSAKA は、ビジネスシヨウ KANSAI へと名称を変更いたしますとともに、会期もこれまで毎年 6 月に開催いたしておりましたものを、12 月開催といたしました。

そして、今回の「第 4 5 回ビジネスシヨウ KANSAI 2006」のテーマは、「ユビキタス社会のビジネス&ライフ」であります。今日のオフィスならびにビジネス環境は、ICT の進展とともに、本格的なユビキタス社会が到来しております。また、この“ユビキタス”がもたらす変革は、ワークプレイスとしてのオフィス環境のみならず、ビジネスを通じて社会全体への拡がりを見せています。

そういった意味から今回のビジネスシヨウの意義は、オフィスと家庭(ホーム)でのボーダレス化の進展であり、単なるビジネスの革新に留まらず、創造性豊かな社会の発展につなげている点であります。

具体的には、ユビキタスネットワークにより急速に進展しつつある知識化社会のなかで、変化するオフィスと家庭の概念、そこで働くオフィスワーカー、ナレッジワーカー（情報から知識を生み出す人）の役割、それにより形作られる新しい社会の姿を示すものとなる予定です。

1.2 組織

主催：（社）日本経営協会、大阪商工会議所

委員長：能勢豊一（大阪工業大学）

副委員長：二宮 清（ダイキン工業（株）・常務執行役員）

藤野隆雄（関西電力（株）・支配人）

大針 泰（（株）東洋紡システムクリエート・代表取締役社長）

委員：情報システム関連企業 30 社の役員 30 名

幹事：大谷一雄（（社）日本経営協会・関西本部長）

2. ビジネスシヨウにおいて第 1 回経営（学会連合）フォーラムを開催する趣旨

ビジネスシヨウ大阪委員会では、第 1 回委員会が開催された 2 月 1 4 日より、3 日間の BS カンファレンスの内容・テーマについて様々な企画・審議をしてまいりました。その一つが、学会フォーラムとして開催する『経営フォーラム』の併設であります。

このフォーラムは、1 2 月 8 日（金）午前、午後にわたって今回のビジネスシヨウの会場にて開催する予定です。今回のビジネスシヨウのテーマが「ユビキタス社会のビジネス&ライフ」で、ビジネスシヨウがこれまで担って参りました「ビジネス機器」「情報機器」「情報システム」「ネットワークシステム」等が展示・実演されるだけでなく、それらを一段と進化させるべく、ビジネスと家庭、テクノロジーとマネジメント、産業界と学界、知識とスキル等々、さまざまな分野での融合をベースに新しいコンセプトを議論する場となることをフォーラム開催の趣旨と捉えております。

今日、学問の使命は、Science for Science という「科学が科学に働きかける」という必要最小限の姿から、Science for Society、Science for Policy、Science for Issue、Science for Emerging Issue、Science for World、というように「社会」、「政策」、「課題」、「緊急課題」、「社会」、「世界や地球」などの様々なベクトル上に働きかけていく姿が求められています。

そのような時代の流れにあって、マネジメント系の各学会が、この機会を社会に対してアピールするひとつの場と捉えてコンテポラリーな連合活動に参画戴くことを望んでおります。

2.1 組織

- 委員長 : 野村淳二 (松下電工 (株) ・副社長)
 副委員長 : 栗山仙之助 (大阪工業大学・名誉教授/摂南大学・名誉教授)
 奥林康司(摂南大学・教授)
 委員 : 8学会+2団体 の代表者17名
 幹事 : 長沢昭彦 ((社) 日本経営協会・関西本部次長)

3. BS・KANSAIの企画進捗：第1回～第3回の委員会議事録の要約

- (1) 協賛確定している学会等 (8学会+2団体) (50音順)
 横断型基幹科学技術研究団体連合 (横幹連合)
 大阪工業大学ものづくりマネジメントセンター(CMM)
 オフィス・オートメーション学会 (OA)
 経営情報学会(JASMIN)
 生産管理学会
 (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会(OR)
 日本経営学会 (JSBA)
 (社)日本経営工学会(JIMA)
 日本経営システム学会(JAMS)
 日本セキュリティ・マネジメント学会(JSSM)
- (2) 経営 (学会連合) フォーラムのテーマ
 7月15日 (土) に開催された第1回目の委員会において「モノづくりとマネジメント」と「教育・人材育成とマネジメント」の2つのテーマを統合的に論じるテーマとして「モノづくりと教育・人材育成のマネジメント」を取り上げるようになった。
- (3) 日程
 第45回ビジネスショウKANSAI : 2006年12月6日(水)～8日(金) 期間中 10:00～17:00
 学会ミニブース展示 : 2006年12月6日(水)～8日(金) 期間中 10:00～17:00
 経営 (学会連合) フォーラム : 2006年12月8日(金) 10:30～16:00
 個別学会フォーラム&懇親会 (JIMA, ORが要望) : 2006年12月8日(金) 16:30～
- (4) 会場
 第45回ビジネスショウKANSAI 2006 :
 インテックス大阪 (大阪市住之江区南港北) 2号館(展示用)、5、6号館 (講演用)
 学会ミニブース展示 : インテックス大阪 2号館Bゾーン内 (Aゾーン横隣)
 学会紹介用として統一形態 : 奥行99cm×幅99cm×高さ90cmの棚付のブース
 経営 (学会連合) フォーラム : インテックス大阪 2号館Aゾーン (200名収容)
 個別学会フォーラム (JIMA関西, OR関西が要望) :
 インテックス大阪 5号館 検討中 (JIMA関西は50人、OR関西は30～40人)
 個別学会フォーラム懇親会 (JIMA関西, OR関西が要望) :
 インテックス大阪内の食堂に打診中
 JIMA関西, OR関西が別個に会場を確保するか、合同ですか要検討
- (5) 決定している内容とその進行スケジュール
 ・2号館Aゾーン (経営 (学会連合) フォーラム)
 10:30～11:30 特別講演1 (ものづくりとマネジメント)
 「人づくり、モノづくり：住まいの哲学」
 エス・バイ・エル (株) 前会長・相談役 中島昭午 氏
 11:30～12:30 昼食・休憩 (学会紹介セッション、名刺交換会)

- 12:30～13:30 特別講演 2 (教育、人材育成とマネジメント)
「 未定 」
広島県立大学 学長 赤岡 功 氏
- 13:30～16:00 パネルディスカッション (モノづくりと教育・人材育成のマネジメント)
コーディネータ：摂南大学教授 奥林康司 氏 (日本経営学会・理事)
パネリスト：神戸学院大学・教授 三道弘明 氏
(50音順) (社) オペレーションズ・リサーチ学会関西支部・運営委員
摂南大学・教授 島田達巳 氏
(オフィス・オートメーション学会 (OA)・理事)
(経営情報学会関西支部・運営委員)
大阪工業大学・講師 下左近多喜男 氏
(日本生産管理学会・関西支部長)
帝塚山大学・教授 高瀬宜士 氏
(日本セキュリティ・マネジメント学会・理事)
関西大学・教授 野口 宏 氏
(日本経営学会・理事)
流通科学大学・教授 野口博司 氏
(日本経営システム学会関西支部・運営委員)
(株) サイバーファーム・執行役員 溝口泰弘 氏
(社) 日本経営工学会・関西支部長
大阪工業大学・教授 本位田光重 氏
(大阪工業大学ものづくりマネジメントセンター
・人材育成グループ長)

・5号館 (個別学会フォーラム：JIMA, OR)

- 16:30～18:00 個別学会フォーラム
(OR学会は「学んだOR、使ったOR」というタイトルに決定)

- 18:00～ 学会懇親会
(OR学会は企画を決定、JIMAは検討中)

(6) 予算について

- < (社) 日本経営協会が負担するもの >
- ・経営 (学会連合) フォーラム開催の案内と広報活動 (当該協会の広報ルートに限定)
 - ・当日来場者に手渡す予稿集 (特別講演2件、パネリストの主張等の原稿) の印刷費
 - ・特別講演者お二人の謝礼金等
 - ・講演会場費 (経営 (学会連合) フォーラム、個別学会フォーラム共)
 - ・学会ミニブースにかかる費用
 - ・講演会場で使用する設備 (液晶プロジェクター、スクリーン等々)
- < (社) 日本経営協会が負担しないもの >
- ・経営 (学会連合) フォーラム委員への手当
 - ・パネリストへの手当
 - ・個別学会が今回の企画全般を学会員に連絡する費用
 - ・学会ミニブースを運用する費用 (待機させるアルバイト、展示物等にかかる費用)
 - ・個別学会フォーラムの懇親会にかかる費用

(7) 原稿執筆要領と原稿依頼について

原稿のメ切は12/8の3週間前、すなわち、11/13(月)～15(水)とし、形態は文章形式、パワーポイント形式を問わないが、原稿のボリュームについては特別講演者の場合は制限をつけず、パネリストについては一定の制限を設けた上で執筆を依頼する。

4. JIMA関西支部の参画について

(1) パネルディスカッションへの参加

(2) 個別学会フォーラムの開催と講師招聘(講師候補と謝礼)

(社) 日本経営工学会 室井勉副会長からの提案

60分講演+10分質疑応答

講師候補：経済産業省通商政策局アジア大洋州課長 杉田定大 氏

「アジアとの連携、アジアの動向」

シャープ (株) 取締役 奥田隆司 氏

「経営工学との関わり、企業での意義」

松下電工 (株) 取締役副社長 野村淳二氏 …… >可能性薄

謝礼金：規定に従って

「MOT」

(3) 学会ミニブースに関する企画

過去に発行した学会誌のセット、関西支部の活動の紹介、ポスター、入会案内パンフレット、WEB情報、関西での関連する大学や研究室の情報、産業界との連携の歴史、研究部会の紹介、賛助会員のリストや情報、賛助会員のメリット、学会の入会キャンペーン資料、社会に働きかけるJIMA冊子の暫定版

(4) 懇親会開催(懇親会費用)

現在のところ、食堂に関する情報が入っていないので、

(5) 学会をアピールする他の企画

- ・今回の経営 (学会連合) フォーラムを関西支部行事の一環として開催する
- ・各学会関西支部共通の無料参加券
- ・各学会の全国大会優待割引
- ・入会企業には大会予稿集広告掲載 (賛助会員対象)
- ・各学会の守備範囲・特徴を示す学会マップ
- ・来場者への学会らしい粗品進呈 (当日のプログラム&リーフレットの他に)
- ・各学会の関西の拠点マップ (大学、企業の出張所的マップ)